

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 4.5 特集 第50回関東甲信越静公民館研究大会 第11分科会 健康・福祉学習と公民館

- 2 トピックス 第60回新潟県公民館大会開催
- 3 視点 「地域の学びと活動の拠点、公民館」
- 3 ひろば 「思い出と期待」
- 6 実践記録シリーズ のびのび学習教室「寺子屋」
- 7 サークル交流 「知的井戸端会議に花咲かせ」(新潟市) / 「お話の楽しさを届けて…」(魚沼市)
- 7 素顔拝見 多田淳美さん(見附市) / 近藤智子さん(新潟市)



親子ふるさと発見教室  
「柏餅作り」「鼓動太鼓体験塾」  
佐渡市

表紙解説 今年で15周年目となる公民館事業で、「柏餅作り」「鼓動太鼓体験塾」を実施しました。

# 第60回新潟県公民館大会開催

『社会教育法改正に伴い公民館がもとめられること』

去る7月17日(金)第60回新潟県公民館大会が、燕市文化会館を会場に開催された。

当日の受付開始前は雨の心配もなく、五百二十余名の多数の参加を得て、会場の大ホールは、ほぼ満席の状態であった。

主管の加茂市公民館、燕市中央公民館、田上町公民館、弥彦村公民館の全面的なご尽



開会式・葦沢会長挨拶

力により、内容充実、円滑な運営で、大成功裡に終了できた大会であった。

佐藤俊夫大会実行委員長の開式の言葉、葦沢豊会長の主催者挨拶、武藤克己新潟県教育長(代理岡田伸夫教育次長)の共催挨拶に続いて表彰式に移った。

永年勤続受賞者11名(第三面上掲)で、葦沢会長から表彰状と記念品が、当日ご出席の4名の方に手渡された。

燕市長小林清様(代理金子光雄副市長)のご祝辞と歓迎のご挨拶に引き続き、来賓紹介、祝電披露が行われた。

基調講演では、常磐大学コミュニティ振興学教授坂本登先生から、「社会教育法の改正と公民館」と題してご講演をいただいた。(1)学習者主体の確認 (2)教育機関の人材

確保 (3)「私」と「公」を一体的にとらえる (4)民意が反映される施設評価 (5)子どもの成長を支えるネットワーク

(6)専門性の要求と資格取得者の活用等、先生の市町村での実践体験、国立の施設での指導体験からの具体的な事例等を交えて、今後のあり方等についてご示唆をいただいた。

(概要は、月報9月号の4・5面特集欄に掲載予定) 午後の事例発表・討議は、

司会者、中越教育事務所太田正純社会教育課長の進行の下、「妙高市における地域活動と市民活動の促進策について」妙高市教育委員会生涯学

習課馬場慎太郎主事、「わくわくドキドキウィークエンド活動」佐渡市金井地区公民館伊藤昭憲館長、「新潟市生涯学習ボランティアバンク」



大会旗引継ぎ

新潟市生涯学習センター・中央公民館金子容子主事から、それぞれの具体的な実践事例に基づいた発表が行われた。

活発な質疑・意見交換がなされた後、助言者の坂本登先生からまとめと今後の方向づけをいただいた。

閉会式では、次期開催地の新潟市中央公民館和田明彦館長に大会旗が引き継がれた後、次期大会概要を交えての挨拶がなされた。

引き続き、大会副実行委員長・燕市中央公民館堀越基館長から閉会の言葉があり、大会は滞りなく終了した。

## BOOKS INFORMATION

平成20年度

実践事例集(A4判 126頁)

「月刊公民館」8月号紙上で資料紹介される!!

頒布価格 900円+送料実費

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

# 視点

## 「地域の学びと活動の拠点、公民館」



村上市立山北中学校長 小田 智美

村上市の一番北に位置する山北地区は、公民館を中心とした生涯学習・社会教育が充実し、地域づくり活動の大変盛んな地域です。昨年度から山北中学校区三校では、学校支援地域本部事業に取り組んでいます。学校を支援してくださる地域の方々の意識の高さ、人材を含めた資源の豊かさは、生涯学習が根付いている山北地区であればこそと思っています。

公民館には、これまでも総合学習等でお世話になっていますが、今年度は、新たに公民館主催の『高嶺大学』開講

日に「個人の学習成果をぜひ学校に」と、本部事業の説明と学校支援ボランティアの募集をさせていただきました。

その後、各学校へのボランティアはもちろん、職場体験の受け入れや生徒との交流、講座の講師を学校職員が担当するなど、双方向の交流に繋がりました。

合併後、公民館の運営も新たな体制で動き出したことと思いますが、今後も地域住民との関わりを大切にしたい、地域の学びと活動の拠点としての大きな存在であり続けてほしいと思います。

# HOT NEWS

## 掲 示 板

### 第60回新潟県公民館大会 永年勤続受賞者

新潟県公民館連合会

| 氏 名        | 所属公民館並びに役職            |
|------------|-----------------------|
| 1 天 野 さつき  | 新潟市北地区公民館<br>非常勤嘱託    |
| 2 高 橋 順 子  | 新潟市亀田地区公民館<br>運営審議会委員 |
| 3 大 森 蓉 子  | 加茂市公民館<br>運営審議会委員     |
| 4 内 山 司    | 村上地区公民館岩船分館<br>運営委員   |
| 5 大 越 孝 行  | 村上地区公民館岩船分館<br>運営委員   |
| 6 工 藤 壽 一  | 村上地区公民館岩船分館<br>運営委員   |
| 7 東海林 静 男  | 村上地区公民館岩船分館<br>館長     |
| 8 中 村 泰 夫  | 村上地区公民館山辺里分館<br>運営委員  |
| 9 藤 井 雄 平  | 村上地区公民館岩船分館<br>運営委員   |
| 10 横 田 英 明 | 村上地区公民館岩船分館<br>運営委員   |
| 11 横 山 祥 子 | 村上地区公民館瀬波分館<br>運営委員   |

## 「思い出と期待」

三条市公民館運営審議会委員 田中 茂

以前は、どこの地域でも行われていた地区民運動会、準備も大変でしたが、充実していたというか「地域が一つになった」という思いがしました。

その頃は、婦人会、青年団、消防団はこの地域にもあり、その活動は顕著でありました。そうした活動以外に、「遊ぶ場が少なかつた」と言えばその通りだと思います。

生活空間が時代の流れの中で、地域中心から自己の生活中心へと大きく変わってきました。以前、青年団、婦人会が中心になってやってきましたことを、今は公民館などが代行して事業を行う中で、時代の流れに沿った内容の事業を「企画・立案・実行」という形の中で運営されております。

公民館の職員の皆さんにおかれましては、大変なご苦労だと思えます。

私は以前のように青年団、婦人会のような組織を作るのは大変難しいと思いますが、地域の人たちが自発的に行動するような活力ある地域が、再び再現、実現出来ればと期待しています。また、私たちがそうした取組みに携わり、確認していくことも必要なことだと思えます。



# 第11分科会 健康・福祉学習と公民館

## 事業で取り上げ、展開するべきかを考える



置されることになり、地域市民の活用も可能なことから、介護予防やリハビリのみならず生活習慣病対策なども視野に入れ、水中体操教室などが展開できるよう水中プログラムの開発を進めています。

### ○その他 (全体で介護予防に関する職員研修会、介護予防教室・転倒予防教室を実施)

効果的に事業が展開できるよう基盤の強化に努めました。

### 5 今後の課題と展望

元気づくりサポーター養成講座では、それぞれ定

員を上回る応募があり好評でした。参加の動機も自分や家族の健康のため、地域のために役立てたいという意向が多くあり、健康への関心と地域貢献への意欲がうかがわれました。今後は健康法を普及し、普段は運動に親しみのない60%の市民をいかに底上げしていくかが課題です。そのためには、地域(自治会)にある「地域のお茶の間」や「サロン」「健康教室」の充実を図ると共に、健康づくり運動指導者の活動や学習の場を広げていくことが重要であり、市民自らが周囲に対して健康法を伝えられるようになることが大きな目標であります。

また、4課共同事業として課を越えての事業実施には、共通認識を図る上でも多くの話し合いの時間を要しました。本当に地域の高齢者がどうなっているのか、高齢者を支える地域はどうなっているのか、それぞれの立場で認識しながら事業を組み立てて行くことが大切です。単に話し合いにより計画のみを立案するのではなく、直に市民と接する各課の担当者が、専門家を交えながら事業の実践を通して知恵と汗を流しながら作り上げていくプロセスが、今後の幸福祉都市の建設に向けた大きなエネルギーになると考えています。

※「幸福祉都市」阿賀野市用語として使用

| 回 | 初 級 編                     | 講 師                            |
|---|---------------------------|--------------------------------|
| 1 | 高齢者の実態「今、なぜ介護予防が必要か？」     | 新潟医療福祉大学 小林量作教授                |
| 2 | 膝痛予防について「ノルディックウォーキングの体験」 | 新潟医療福祉大学 古西 勇 准教授              |
| 3 | 高齢者の運動と地域の役割              | (有)Chika プロモーション 代表取締役 伊藤千賀 先生 |
| 4 | 高齢者の栄養、口腔ケア               | 市栄養士・歯科衛生士                     |
| 5 | 認知症サポーター育成の取り組み           | 南魚沼市役所 長谷川まり子 保健師              |
| 6 | サポーターの役割とけんこつ体操           | エリアドゥ 21 主宰 関口陽子 先生            |

| 回 | 健康づくり運動指導者コース          | 講 師                               |
|---|------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 健康づくり運動の社会的ニーズ (講義)    | (有)Chika プロモーション<br>代表取締役 伊藤千賀 先生 |
| 2 | 健康づくりにおける運動の必要性 (講義)   |                                   |
| 3 | 有酸素運動の指導プログラム並びに指導法    |                                   |
| 4 | (講義・実技)                |                                   |
| 5 | 筋力・柔軟運動の指導プログラム並びに指導法  |                                   |
| 6 | (講義・実技)                |                                   |
| 7 | 対象別プログラム並びに指導法 (講義・実技) |                                   |

# 特集

## 第30回関東甲信越静公民館研究大会

### 「健康」と「福祉」を学習課題としてどう公民館



新潟県阿賀野市  
中央公民館長

見原 健司

#### 1 阿賀野市の概要

阿賀野市は、新潟市から南東20kmほどに位置し、雄大な阿賀野川に育てられた穀倉地帯の一部で、米づくりが盛んなところです。平成16年4月1日に「水原町(すいばら)」「安田町(やすだ)」「京ヶ瀬村(きょうかせ)」「笹神村(ささかみ)」の新設合併により阿賀野市が誕生しました。全国的には白鳥の渡来地「瓢湖(ひょうこ)」が有名で、昨年10月にラムサール条約湿地登録されました。

人口46,925人、世帯数13,640世帯、面積192.75km<sup>2</sup>。平成21年度における一般会計予算は約172億円です。

#### 2 介護予防の背景

平均寿命から日常生活を大きく損ねる病気や怪我を差し引いて算出する日本人の健康寿命は75歳です。日本人の平均寿命は81.9歳なので、その差となる6.9年間は健康でないこととなります。健やかに過ごせる人生をいかに長くするか、フレイルでは「歩きながら死にましよう」という表現があるほど、最後の最後まで人間らしく生きるというのは誰もが持っている大きな願いです。しかも健康寿命の延伸は、本人や家族のみならず医療・介護費抑制の観点からも社会的に大きな課題となっています。

#### 3 元気づくり共同会議のねらい

阿賀野市では、福祉先進国といわれるフレイルに介護予防を学びながら、幸福祉都市を目指した阿賀野市らしい高齢者対策を推進することにした。その一つの取り組みが、「元気づくり共同会議」の活動です。『阿賀野フレイル予防健康福祉プロジェクト』を総括する「企画政策課」、老人保健を管轄する「健康推進課」、高齢者福祉・介護保険事業を管轄する「福祉課」、そして生きがいづくりや地域社会への

積極的参加、レクリエーションや運動などを担当する「生涯学習課」の4課が連携し、情報を共有しながら施策を考え実践していくために、企画政策課の呼びかけで平成19年度に発足しました。元気づくりの基盤をつくる(全体の底上げを図る)ことをねらいに、職員23人で3グループを編成し、それぞれのテーマに沿った事業を展開しています。

#### 4 活動概要

##### ○市独自体操考案事業チーム

当初は、「膝のケア」の要素を盛り込んだ独自の介護予防体操を考案し、市民全体の普及を目指すことを目的に編成されました。しかし研修や協議を進める中で、広く普及を図るためには、日ごろの家事の合間などに行える手軽な基礎健康法を広める方がより効果的であるとの考えに至り、独自体操にこだわらないことになりました。その結果、正しい姿勢・深い呼吸・正しい歩き方で構成する健康基礎法で、背中をまっすぐ伸ばし、生き生きとした体で、健康的な生活スタイルを送るための運動「シヤキイキ健康法」を考案。誰でも、何時でも、何処でも手軽に行える健康法として、今後はDVD化し広く普及活動に取り組んでいきます。

##### ○元気づくりサロナー養成講座(初級編・健康づくり運動指導者コース)

平成20年度は初級編として、地域の健康福祉活動に積極的に関わる市民パワースを育成・活用するため6回シリーズの講座を開催しました。参加者35人に平成21年度は初級編の他に、さらにレベルを上げた「健康づくり運動指導者コース」を新設し、地域の高齢者が健康づくりのために集う「地域のお茶の間」や「サロン」、「介護予防教室」などの健康福祉活動に、指導者として積極的に関わる市民パワースを育成・活用するための講座を7回シリーズで実施しました。参加者21人。

##### ○水中プログラム立案チーム

平成21年度の開所に向け、改築工事を進めている特別養護老人ホーム「白鳥荘」に、室内プールが設

# 実践記録

137

シリーズ

## のびのび学習教室「寺子屋」

五泉市教育委員会生涯学習課指導員 谷黒 靖



### ●事業の目的

五泉市では、平成18年度から

- (1)豊かな体験活動の実践による、自他を大切にしよう人間関係の醸成
- (2)自学自習の生活習慣を形成することによる、基礎学力の向上

を目的として、寺子屋事業を開始しました。現在は、国の推進する放課後子どもプラン「放課後子ども教室」事業の一環として取り組み、今年で4年目になります。



### ●事業の概要

放課後、参加を希望する児童に、自主学習・体験活動の場の提供などの支援をしています。今年度は320名の児童が寺子屋教室に通っています。

- ①**実施期間** 平成21年6月初旬から平成22年3月中旬までの祝祭日・学校の休業日を除く平日に週2回実施します。実施曜日については、学校や地域の実情を考慮し、決定していますので、教室により異なります。
- ②**時 間** 基本的には、午後1時30分から6時までですが、下校時刻により午後3時から6時までの日もあります。児童の帰宅については、必ず保護者の迎えが必要で。
- ③**使用会場** 小学校近隣の市の施設や地域の集会所を使用しています。今年度は、各小学校区に1教室ずつ(全11教室)開設しました。
- ④**定 員** 1教室20名程度ですが、会場の規模・担当指導者数により50名程度まで受け入れている教室もあります。
- ⑤**参加費** 受講費は無料です。しかし、教材費・おやつ代・体験活動費については、参加費として月額1,500円を、保険料については、年額1,150円を保護者に負担していただいています。
- ⑥**主な活動** 児童は教室に来ると、まず学校の宿題

を始めます。それが終わると、参加費で購入した寺子屋のドリル学習をします。指導者は、児童に寄り添い、個に応じた支援を行います。その後、休憩(おやつタイム)・集団での遊びをしながら保護者の迎えを待ちます。

### ●体験活動の紹介

日常の活動で実施されるものと、市が主催するものがあります。

指導者は、豊かな人間関係を築くため、施設及びその周辺の環境を利用して、集団での遊び活動を実践しています。ザリガニ釣り・おやつ作り・ゲーム等、指導者の創意が生かされ、児童が一番楽しみにしている時間です。

市が主催するものとしては、全寺子屋児童を対象として、土曜日の午前中に「夏のミニレク大会」と、「秋の愛宕山オリエンテーリング」を実施します。各教室の混成チームを作り、得点を競います。最後に、指導者の皆様から作っていただいたトン汁を食べて解散です。いずれも、保護者・指導者を含め200人を超える参加者で賑わいます。



### ●今後の課題

市では、一人ひとりに目が行き届くよう、児童7人に1人以上の指導者を各教室に配当したいと考えています。現在69名の登録をいただいているのですが、週に1回程度なら協力できるということで登録いただいている場合が多く、不足については、一部の指導者の方々に複数の教室を担当していただき補っている状態です。年々登録していただける方々も増えてきていますが、指導者ご自身の高齢化・孫ができたなどの家庭環境の変化・介護等で、指導の継続ができなくなる方もおられます。

参加を希望する児童数が増えています。できる限り多くの児童を受け入れることができるよう、人的環境の整備に努めていきます。



# event information

日本天文学会創立100周年・世界天文年2009

天文学 天体観測から400年

## 宇宙の謎を解き明かす

9月5日(土)~10月4日(日)  
 NIIGATA SCIENCE MUSEUM  
**新潟県立自然科学館**

主催：新潟県立自然科学館、日本天文学会、世界天文年2009日本委員会、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所

協賛：東京大学大学院理学系研究科、理研、理研大分研究所、京都府立総合研究機構、A. Rezaei, C. R. O'Dell (Vanderbilt University), CXC, D. Proulx et al. (Northwestern University of Arizona), ESA, ESA, Fermilab, J. Heiser and G. Brown (Arizona State University), Jan Morav (University of Colorado), JPL-Deltech, Los Campanas, NASA, NISU, P. N. Aouf (Soc/Cortico), SADO, B. Reynolds et al., SSC, STScI, G. Winer (Harvard-Smithsonian CfA), The Hubble Heritage Team (STScI/AURA), WMAP Science Team

世界天文年 2009

## 恵贈資料紹介

### はぐくみネットワーク第4集

本紙がはぐくみネットワーク第1集を紹介したのが、平18・6・15付No六四〇紙上です。今回、より一層内容充実の上刊行されましたことに敬意を表します。

まず、本書を活用するにあたっての留意事項を記載され、そして、I「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の地域の事例 ○身近な地域での家庭



教育支援事業 ○「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業 ○放課後子ども教室推進事業 ○学校支援地域本部事業

業 ○地域のネットワークや資源を活かした取組 II新潟県地域家庭教育推進協議会 新潟県教育委員会の事業 III資料等から構成されておりま

す。とくに、放課後子ども推進事業や、学校支援地域本部事業等は、今後の市町村公民館事業の幅広い展開に大変参考になるようです。

## 道路ふれあい月間

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。私たちの生活に欠かすことのできない「道」について考え、安全で快適な社会生活環境を実現していきます。

新潟県道路整備協会  
 会長(田上町長) 佐藤 邦義

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

### あ と が き

第60回新潟県公民館大会も盛會裡に無事終了することができました。

5年前、新しく中越管内に編入された燕市、弥彦村を交えて、中公連研修会の

開催、実施等地ならしも終え今回大会を開催されたとか。加茂市並びに田上町の二市町と、燕市・弥彦村の二市村のすばらしいチームワークに敬意を表します。ありがとうございました。

(鈴木 記)